川柳

赤堀晶子

（六会川柳会）

茶柱がダブルで立ったバースディ
リモートで帰省墓参と様変り
フル回転させたい脳も指示を無視
断捨離を懐かしい過去邪魔をする
うっかりが大手振るよにもの忘れ

朗

（六会川柳会）

熱帯夜運動してる寝返りで
金婚で刻んだ二人夫婦道
先輩の悲報届きて涙する
鈴虫が聞きに来てよと呼んでいる
コスモスよ我が人生も咲き乱れ

浅井栄

（辻堂川柳会）

物忘れ基礎疾患とあきらめる
デジタル化年代格差また開く
列島がコロナで揺れる夏休み
車座の呵々大笑は夢の中
二刀流もう一太刀と観るテレビ

安部典子

（鵠沼川柳同好会）

車椅子押してあなたと吾木香
富士山とお見合いしてる露天風呂
胸に白湯沁み入るようなアドバイス
名文は句読点まで良いリズム
黙秘权使い夫は早寝する

石川正明

（湘南台川柳会）

初詣人と神とに距離をとる
画面でのライブで出せぬ声と汗
マスク取り顔が変わって泣く赤子
そろそろか八時を越えたお惣菜
欠けていく棚に並んだ湯飲みたち

伊藤順子

（鵠沼川柳同好会）

ややこしい西暦和歴ある日本
マスクして目尻で笑うニューライフ
圧巻の二冠も笑顔あどけない
転勤族馴染む間もなくまた辞令
母子家庭父の役まで二刀流

市川嘉紀

（鵠沼川柳同好会）

良縁に一人娘の遅い春
幼子がじっと見ている痴話喧嘩
期待した子の才能は俺に似る
旅行券走り続けた父母に買う
妻看取り何しても良い春残す

井上朗

（川柳こぶしの会）

半袖へ避難グッズも衣更え
十歳の少年になる終戦忌
健診の結果しぶとく範囲内
生を聴き心躍ったコンツェルト
墓決めてさあこれからだ四コマ目

岡田仁子

（鵠沼川柳同好会）

人のエゴ自然逆らいツケが来る
ぎっくり腰イケメン医師で痛みとぶ
鏡には言い訳きかぬ我が姿
値札見て急ぎ言い訳考える
結果聞き足取り軽く医院出る

岡本昌代

（湘南台川柳会）

また翔べる信じて今日は羽休め
三振も笑いとばせる草野球
白紫陽花色に染まらぬいさぎよさ
ロボット犬抱き耐えているペットロス
国分ける鉄条網の涙あと

小澤敏夫

（なぎさ川柳会）

寝たきりに成らず散歩と脳トレを
ガンコ爺初孫抱いてエビス顔
トライしたスマホに脳が追いつけず
メモに無い物まで買って叱られる
接種済証明見せる旅の宿

小野敬子

（六会川柳会）

夢の中大好きな彼ひとり占め
すきっ腹かかえ検診目が回る
寺まいりいの一番にボケ封じ
なるほどと素直に言わぬヘソ曲がり
なに気なく犬に言ってたアンヨ拭こ

菊地政勝

善良な民に見抜けぬ二枚舌
今日の日は二度とないから無駄にせず
二引く一いずれ夫婦がたどる道
家飲みにラストオーダー急かされる
黙食が二年も続き失語症

今日一

（川柳こぶしの会）

乳酸菌誰が数えた百億個
幸せは変わりないよと書く手紙
もの忘れ増えたが食事忘れない
良くやった世界褒めても大赤字
籠り癖人と会うのが辛くなり

熊田松雄

（湘南台川柳会）

見たいけど見てはいられぬ初舞台
立ち話犬が何度も立ち上がる
父と子のズレを埋めてく母の飯
収まった妻の火種に足す油
肩書きがとれて半値の顔になり

ケイ

婆が言う水菓子孫にゃ通じない
古民家を手直し移住未だ夢
メロドラマ似たり寄ったりでもはまる
義理チョコがまさかのまさか縁結ぶ
袋菓子開けりゃパリポリきりがない

斎藤　融

（辻堂川柳会）

退転後媚びも要らないうまい酒
手術後にメスが一本見当らぬ
自家菜園不揃いながらお裾分け
混浴に湯気の人影気にかかり
晩酌に付き合う妻が俺を超え

坂本万里

（六会川柳会）

急く程の仕事もなくて今日も暮れ
不用心立つだけで開く自動ドア
眠る子の側で父さんテレワーク
断捨離し身軽になってなお元気
少子化で先祖代々途切れそう

沢辺祥子

（湘南台川柳会）

アレ立ったワッ歩いたと大騒ぎ
片恋のままレンタルの袴脱ぐ
ふぐ刺をさらう女房のしたり顔
岩陰で眠りこけたい回遊魚
伴走を頼むお金も脳味噌も

島津富弥

（湘南台川柳会）

解ってはいるが星座はまだロマン
平穏を願う合掌深い皺
丸い輪にやっと入れた定年後
バンザイで送られていく都落ち
屋台酒不運の舌によく馴染み

島村青窓

（湘南台川柳会）

お食事よ三度目はつい怒鳴り声
二年たちマスクの下がだらけてる
デザインで選びサイズで拒否される
メッセージ切手に込める淡い恋
ホックの位置ずらし待ってる栗おこわ

島脇信吉

（鵠沼川柳同好会）

手入れをし儲けの上手花の寺
母逝って丸い背の父より黙る
公文書焼いてしゃべらぬお役人
角番でやっと八勝肩で息
家中を春にしている笑い声

尚風

還暦に膝も腰もとどつこいしょ
金メダル国歌歌えぬ国もある
コロナ禍にスマホ片手の一人鍋
巣篭も断捨離掃除でリフレッシュ
踏み出せば世界が動くパラ五輪

菅沼雅彦

AIも豪雨災害打つ手なし
GOTOGOTOとやすらぎ求め旅に出る
安全は人の生命（イノチ）と引き換えか
五輪でもメダルとどかず職さがし
名月は真夏日の夜（ヨ）にごあいさつ

鈴木明美

（鵠沼川柳同好会）

生き生きと病気の話止まらない
病経て苦慮する夫のやさしさ
体温が染みた言葉で来る賀状
ストレスを貯めずに生きる知恵と技
政治家も男前から人気出る

竹花敏夫

（湘南台川柳会）

お迎えが気になる朝の訃報欄
冥土への土産も探す旅支度
身の丈を知って余生の日向ぼこ
忖度も座右の銘に宮仕え
目覚ましに雨戸が開く露地の仲

妹尾安子

（六会川柳会・鵠沼川柳同好会）

銭湯の富士へ時々会いに行く
フルコースよりも茶漬の見合う齢
にわとりに感謝毎日食う卵
忘れたい昔をほじる嫌な人
セールスにチャンスチャンスと急かされる

田中邦彦

肩書がとれて治った肩のこり
神棚にきのうまで居た宝くじ
猫にする半分でいい俺の世話
体重計首をひねってまた計る
惚れるのも惚けるも人のたどる道

ちか

（湘南台川柳会）

ありがとう家の中でもありがとう
シャツ四枚ズボン二枚で過ぎた夏
一駅を歩き鼻歌でる家路
身に付いた倹約術は変えられず
見た目より味で勝負の夫めし

戸澤千鶴

（湘南台川柳会）

調律師終わりましたとショパン弾く
約束の戸建てに保険遺し逝き
親の役終えて余生の地図を描く
等分に年金出して夫婦旅
戸籍上バツで消え去り娘は嫁ぎ

中澤英風

待ったなしだんだん広くなる額
力んでもやっぱり歳か息が切れ
下校時の生徒　はしゃいで道塞ぐ
変てこになるほど楽し福笑い
コスモスの風に負けじと強気腰

長嶋富士子

（湘南台川柳会）

大伽藍底冷えの中鐘光る
友からの温々ベスト幸を着る
老いの脳言葉出てこぬじれったさ
すぐ飽きて集中欠ける嗚呼卒寿
子のゲームいつの間にやら父のもの

長屋　比佐子

（湘南台川柳会）

我主人選んだ時が幸の道
みな同じカイワレ大根どれ間引き
母から娘へバトンをつなぐ京雑煮
一日が勝負のごとよ無事終えて
三つ編みの髪の分かれ目今もあり

萩

（川柳こぶしの会）

金無いが友達多く妻も居る
えっまさかこんな分野に専門家
難病に打ち克つ努力報われる
輝きは一瞬されどきっと来る
ＰＣの壁紙変えて気も新た

はじめ

（鵠沼川柳同好会）

躓いた足元見ても何もない
お馴染の猫と逢瀬のウォーキング
懐メロのズームアップにぎょっとする
窓の灯が独居の老いの無事を告げ
身を任せ放物線で生きてみる

幡多　純

（湘南台川柳会）

長い髪ばっさりとママへの自覚
難聴の奥に数匹蝉を飼う
来し方が顔作るらし同期会
生き形見並べ思案の浮ぶ顔
天国へ着いたとＬＩＮＥ七七日

ひろし

（六会川柳会）

熱戦に負けた方にも大拍手
どちらにも勝って欲しいな好ゲーム
新聞に月日曜日を教えられ
大佛に好かれているかうちの妻
カレンダー手帳に書いて呆け防止

深野 いく生

（なぎさ川柳会）

玉の汗ぬぐう間もない救急医
相談は昔長老今ＬＩＮＥ
度忘れも回数増えりゃ怖くなる
真夜中の地震ライトはどこにある
子と夫送ってテレビひとり占め

古木光江

（鵠沼川柳同好会）

重力に逆らいバスト持ち上げる
窓際の一等席は猫がとる
ポケットに言い訳詰めて朝帰り
仕事終え噂集まる更衣室
大空を独り占めする鯉のぼり

正武

（辻堂川柳会）

昭和

敗戦が点してくれた希望の灯
戦争はもうこりごりという昭和
昭和史に消えぬ汚点のきのこ雲
豆腐売り今日のラッパは嬉しそう
戦後処理一つ終った「黒い雨」

水城茂子

（六会川柳会）

悠々と川柳楽し老いの日々
黙ってる方が利口のこともある
喜怒哀楽の刻まれたしわ母の顔
不要不急外出自粛消費減
歴史的快挙大谷二刀流

村田和彦

（湘南台川柳会）

夜目遠目笠の内でも厚化粧
適齢期過ぎて理想を五割引
杵柄が孫のピアノで疼きだす
預かった孫にはらはら老夫婦
クラス会言葉とられた蟹料理

村田憲治

去る人が全て解除の置き土産
コロナ禍で人出が足りぬ医療界
クシャミして周りの人が席を立つ
初孫に添い寝の爺が高いびき
ハクションでその場に居れぬ事となり

守田貴美子

（六会川柳会）

悩みって口に出したら軽くなる
噂には種もあります花も咲く
したくない時だけ歳のせいにする
何歳になってもはまる迷い道
雑談は心をつなぐ潤滑油

やまぐち　珠美

（湘南台川柳会）

まっとうな黒を知らない蛍闇
群像の光へぽつり画鋲あと
羊水の波揺れている穂のように
失敗はそんなことかと大落暉
吽形の舌先に置く冬銀河

吉田節子

（六会川柳会）

通販に効き目並べてこれでもか
大風呂敷一度広げて見せたいな
八十路来て薄化粧まだ似合う人
お互いに生きているねと久し振り
ネコいつか群から離れ家の子に

吉野健司

（湘南台川柳会）

健診を終えてほおばるカツカレー
感染防ぐ沈黙のカニ料理
病室の窓定点に読む天気
試食ない売場を巡る味気なさ
ちょっぴりの昼寝の効果たっぷりと

米山かず

（川柳こぶしの会）

国論を二つに割ってやる五輪
始めたら夢中になって見る五輪
スケボーの若き王者に栄えあれ
御家芸金を掘り当て御満悦
常人を其の内越えて行く義足

禮　風

（川柳こぶしの会）

ご縁とは不思議なものよウェディング
巡り合い恋した彼も父となり
しあわせの続き子等の生長期
夢の様いとしい子等のウェディング
産声にげんき元気と皆笑顔

渡　辺　次　郎

（湘南台川柳会）

投げて打ち人柄までも時の人
竹の子がそろそろ来ると糠を買う
裸婦像の前で足止め美術館
六割の勘で人生生きて今
三日前買ったジャケット今日半値

第二十一回市内川柳サークル合同句会（誌上）

令和三年十一月

主催・運営　湘南台川柳会

参加人数　四十七名（七サークル）

課題（四題）・選者…各二句詠

「正直」　菊地　政勝　選

「ナンバー」　権田　藍　選

「黙る」　島津　富弥　選

「今さら」　吉野　健司　選

課題　「正直」　菊地　政勝　選

五　客

つまらない物でとホント正直な　健　司

隠しごとできないくせに悪さする　貴美子

正直に意見を述べて四面楚歌　富　弥

本番の時に必ず熱を出す　有　子

夫留守ホットする日の昼さがり　光　江

三　才

人

子の気持正直に聴き安堵する　富士子

地

正直に言えば角立つ義理の仲　松　雄

天

二人目の人格が出る無礼講　富　弥

軸

発病にカルテが突いた不摂生　政　勝

課題　「ナンバー」　権田　藍　選

五　客

番号で呼ばれ人格放棄する　正　武
背番号一桁目指し甲子園　和　彦
目立たないこともナンバーツーの技　はじめ
皆番号人間らしさが剥ぎ取られ　有
二番手が裏で作意の糸を縒る　富　弥

三　才

人
大谷の背番号付け草野球　いくお

地
国民にナンバーつけて国管理　松　雄

天
あったぞと叫ぶ合格掲示板　嘉　紀

軸
彼女には僕がナンバーワンのはず　藍

課題　「黙る」　島津　富弥　選

五　客

コロナ禍でパントマイムになる夫婦　かず
皆黙る意外な人の上手い歌　朗（こぶし）
言い合えば何も言わない持久戦　ちか
権力が声なき声を黙らせる　いく生
一人居で話す人ない日が暮れる　茂子

三　才

人
諍いを回避する為ただ黙る　青窓

地
核禁に黙したままの被爆国　はじめ

天
静かに傾聴するそれだけでいい　ちか

軸
口喧嘩しない勝つのは妻だから　富弥

課題　「今さら」　吉野　健司　選

五　客

お若いと言われ今さら言えぬ歳　敬　子
背伸びしたスマホへ脳が悲鳴あげ　としを
散々な検査のあげく異常なし　和　彦
賞味期限切れても明日へ眉をひく　富　弥
遺言に父との墓は嫌と母　千　鶴

三　才

人
ビッグサイズ今更痩せちゃ不経済　晶　子

地
オレオレに時代遅れと説諭する　いくお

天
土下座してももう遅い私もするわ　純

軸
よく使う言葉が辞書にない不安　健　司

第三十五回ふじさわ川柳大会は、
新型コロナウイルスの感染状況を鑑み
中止いたしました。